

■公開講座

ボリショイ・バレエの伝統、そして現在

講師

バレエダンサー・振付家
バレエ評論家・舞踊文化研究家

岩田 守弘
守山 実花



ボリショイ・バレエ団でソリストとして活躍する岩田守弘さんをお招きして、ボリショイ・バレエ団の伝統や精神性についてお話を伺います。

岩田さんご自身の体験や日々肌で感じられていること、グリゴローヴィッチやワシーリエフなどボリショイの歴史を彩るバレエ・マスターたちとのエピソードなどから、ボリショイ・バレエが何を重んじてきたのか、そして代々受け渡してきた伝統とは何なのかが見えてくるのではないのでしょうか。

また振付家としても活躍される岩田さんの作品作りの秘密についても伺いたいと思っています。
(守山・記)

日 時 2009年8月18日 火曜日 19:00~20:30

受講料(税込み) 会員 3,360円 一般 3,990円(入会不要)

場 所 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター(申し込みは4階受付)

※講師の病気や受講生が一定数に達しない場合などには、講座を延期または中止することがあります。
※お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター
〒163-0204 新宿住友ビル内 私書箱22号
新宿区西新宿2-6-1 Tel 03-3344-1998(直通)
インターネット情報接続先 <http://www.asahiculture.com/>

※講師紹介は裏面をご覧ください

<講師紹介>

岩田 守弘（いわた・もりひろ）

1996年バレエ界の雄「ロシア国立ボリショイ・バレエ」に入団。厳しいオーディションを受け初めて入団を許可された外国人ダンサーであり、現在もソリストとして活躍。昨年行われた同団来日公演で喝采を浴びたことは記憶に新しい。NHK「プロフェッショナル」にも出演し、バレエへの情熱と真摯で謙虚な人間性が大きな反響を呼んだ。現在は新進の振付家としても活躍している。

1970年10月6日生まれ。9歳から岩田バレエスクール（父 岩田高一主宰）にてバレエを始める。

1981年東京新聞主催全国舞踊コンクール入賞。

1987年（社）日本バレエ協会主催 第6回全日本バレエコンクール第1位、文部大臣賞、東京都知事賞、東京新聞社賞、IBM賞 受賞。

1988年ソビエトバレエインスティテュートに入学。

1989年ローザンヌ国際バレエコンクール（東京開催）ファイナリスト。

1990年ロシア国立モスクワアカデミー舞踊学校留学アレクサンドルーボンダレンコ師事。

1991年USA国際バレエコンクール（ジャクソン市）銅賞受賞、（社）日本バレエ協会主催夏季定期公演にて最優秀賞受賞。国立ロシアバレエ団入団。

1992年全ロシアバレエコンクール”アラベスク”（ペルミ市）グランプリ、ミハイル・バリシニコフ賞、受賞。

国立劇場芸術大学（ギティス）入学。

1993年第7回国際バレエコンクール（モスクワ）金賞受賞

1995年ロシア国立ボリショイ劇場 研修生

1996年ロシア国立ボリショイ劇場 ソリスト

1997年村松賞受賞

1998年ダンスマガジン新人賞受賞

2000年バランシニーチャプキアーニ記念バレエフェスティバル グランプリ及び振付賞 受賞。国立劇場芸術大学（ギティス）教師科卒業。エブゲーニーヴァルーキン師事

村松賞受賞。

2008年第2回国際バレエコンクール<ユーリー・グリゴロービッチ>振付賞受賞。

守山 実花（もりやま・みか） バレエ評論家・舞踊文化研究家。清泉女子大学、お茶の水女子大学大学院で西洋美術史を学ぶ。バレエ専門誌、公演プログラム、DVD解説等のほか、女性誌にも執筆。「ヴァンテース」（アシェット婦人画報社）にて「守山実花のバレエ三昧」を連載中。著書「バレエに連れてって」「食わず嫌いのためのバレエ入門」、監修著「ぴあ バレエワンダーランド」など。明治学院大学、織田学園、都民カレッジなどで講師を勤め、現在は清泉女子大学社会人講座講師。